

カウンティング・スケール 容器に入れたパーツの計数

容器を空にすることなく繰り返し個数を計量

容器内のパーツを1つの容器から別の容器に移すことなく、個数を計量する方法があります。これにより、時間と経費が節減されます。

容器の風袋重量(空の重量)がわかっているならば、手順は非常に簡単です。

パーツを入れた容器をはかりに載せます。



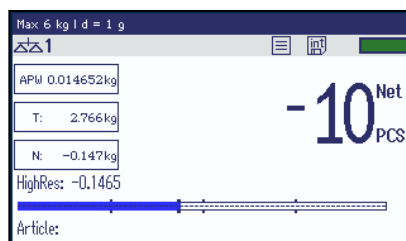
パーツを入れた容器をはかりに置いて TARE キーを押すと、はかりに総重量が「0」と表示されます。



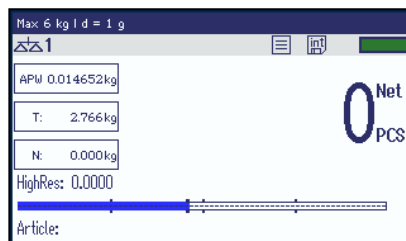
例えば、サンプルのパーツを10個取り出すと、はかりには総重量がマイナスで表示されます。



サンプルキー(例えば、Smpl 10 キー)を押すと、はかりが個数計数モードに切り替わり、「-10 pieces(-10 個)」と表示されます。これは、容器から取り出した 10 個を示しています。



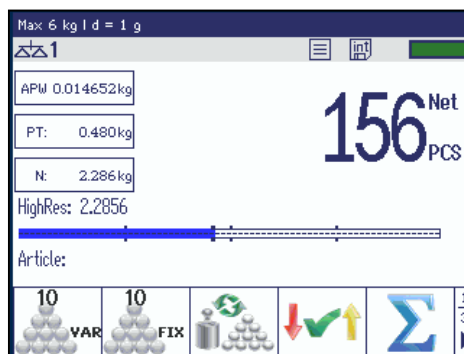
サンプルのパーツを容器に戻すと、はかりには 0 個と表示されます。



容器の既知の風袋重量(例えば、0.48 kg)を入力します。0.48 の各キーを押してから、TARE キーを押します。



はかりが前の風袋重量をプリセット (入力した手動風袋重量) で上書きされ、容器内の合計個数を表示します。



操作はこれだけです。

メトラー・トレド株式会社
産業機器事業部
〒110-0008 東京都台東区池之端 2-9-7
池之端日殖ビル 1F
TEL: 03-5815-5513 FAX: 03-5815-5523
Email: sales.admin.jp@mt.com

www.mt.com/count

詳細情報